

# 人権Web通信 vol.7

## 「人権意識を高める」ということ（4）

### 人権意識を高める学習内容【様々な人権問題】を知る③

前号からの続きです。今号は、「アイヌの人々」「刑を終えて出所した人」「性的指向・性同一性障害（LGBT）に関わる人権問題」「ホームレス等生活困窮者にかかわる人権問題」「北朝鮮当局による拉致問題等」についてです。

#### アイヌの人々

北海道を中心に、昔から日本に住んでいるアイヌの人々は、明治維新以降の同化政策により、民族としての誇りを奪われるような大変苦しい思いをしてきました。今でも、結婚や就職の差別、差別的な発言を受けるといった問題があります。このような問題の解決に向けて、令和元年には、アイヌ民族支援法が施行されました。

#### 刑を終えて出所した人

罪を犯した人にも、人権は保障されなければなりません。よって、刑を終えて出所した人が社会の一員として生活を営むことができるように、家族や職場、地域社会が協力する必要があります。しかし、周囲からの差別や偏見、就職についての差別、噂の流布などによって社会復帰が難しくなってしまうという問題があります。

#### 性的指向・性同一性障害（LGBT）に関わる人権問題

LGBTという言葉だけで世の中の性を表現することは不可能であり、性的指向や性自認は個人によって様々であることを前提にすることが重要です。顔が人それぞれ、十人十色であるように、性的指向や性自認も十人十色です。しかし、性の多様性への理解不足により、ストレートではない方々が好奇の目にさらされたり、差別や偏見を受けたりする問題が生じています。また、SOGI（ソジ）という概念について理解することも重要です。

#### ホームレス等生活困窮者にかかわる人権問題

様々な理由から、自立の意思がありながら、やむを得ない事情で公園や道路、駅舎等での生活を余儀なくされている人々がいます。これらの人々は、偏見や差別、嫌がらせや暴行の対象となるケースが少なくありません。病気や経済的困難を抱えている場合もあり、行政や支援団体に自らアクセスできないという問題も見られます。

#### 北朝鮮当局による拉致問題等

北朝鮮当局によって日本人が拉致された問題で、日本政府は、これまでに17名を拉致被害者として認定しています。国の問題、遠い話と思われがちですが、被害者の人生を壊してしまう重大な人権問題であるという認識が大切です。この人権問題を学ぶために、拉致問題啓発アニメ「めぐみ」が制作され、各学校等に配付されています。